



5  
4650



門 八 五  
流 卷  
4650

十の聖繪の書我師之行養を  
寒郷の人の心への需あり  
まかしく編るなりけり一なるハ  
世に假山を以てするまはれ泉石  
草木と得る風景の巧みなり

俳諧の初巻も句中に花実を  
採りてあつゝいそげ懐く  
其杖を求む時ハ調音ハ洋ナ  
夜すゝゝゝゝ

吾中書



明日檜席

うつすお借ふ花乃ゝゝゝの幸徳末  
又とみられ花乃ゝゝ源氏の中将  
下ゝゝゝゝゝゝゝゝのやゝから  
此深山末ありこのとあつゝゝゝ  
よらあゝゝゝゝゝゝゝの俳諧  
初巻の人ゝゝゝゝの席乃ゝ

際々都鄙の紛地を記憶は次  
雅俗の二語を當りて一遺恨  
再ら然阿らるるかの芭蕉の  
翁之秘一もや翁のあつたれ  
何すあふふやあん中らぬら  
一も花小ま舞ふもはあはら  
庵ららて世中れは程程も工西

107

の標標良醫の馬勃にあらん  
は乃母遊りて人乃一物も  
おらあんと標は改所す  
と等れよのらら

師年菴吾山



凡例

一 此書は清語平話と記して文章  
 附合ホの便とす  
 一 俳諧ハホの便とす  
 一 ひつりしきと水もこまをけらんや  
 一 世に江戸は清語と申すはりしき又小庄の清  
 其詞宗くしつて論とす  
 一 第の徳多らんのかみりしきは後  
 の人乃後と俟あなり

雅言俗語翌檜卷本

昭和十六年一月十一日寄  
 尼野貴英氏贈

武江

法橋吾山越谷秀真著

不二亭井来 裁

春雷堂建朱映 校定

東原子田未央 刪補

諸國畧地名

山城

京。内裏グイリ 九室 百寮

南殿

清階 左近橋 右近橋

清凉殿

夜御殿

天子

林壺

友女飲 食

雷壺

雷鳴の時清門と守護  
一と雷の鳴り











○黒岩 光明寺之堂の塔は比呂し比ね板  
ありし下くなくしは同。○唐ヶ谷 倭宮  
ありし下くなくしは同。○唐ヶ谷 倭宮

○如意ヶ山 獄 大文字山といふ  
七月十六日の盛

大文字の形より少くは守りし村よりなりすべ  
○直如寺 大文字の形より少くは守りし村よりなりすべ

○吉田 里山吉田の 神子園 日本國中の社社と  
社中の一座

○聖護院 山山外の 社中の一座  
胡瓜の社

○乾葉寺 大岡寺書名ハ  
泉川

○銀閣寺 又村の名符字慈照寺  
志賀の山越

○山越 山越 山越 山越

○大原 大原 大原 大原

○八瀬の電風 八瀬の電風

○獄の清水 獄の清水

○雲母坂 雲母坂

○西塔と掛川との中間と云

○雲母坂 雲母坂

○西塔と掛川との中間と云

○雲母坂 雲母坂

○西塔と掛川との中間と云

○雲母坂 雲母坂

あまは名あつ西坂本とし云ひえの山（やま）のたまりて五十七ありいへん  
そは江の國たりたるもけつし出す湖あり山より東あり幸はのね  
まをいとむらひなり。○**松崎**（まつき）は村の男女題目よりしとけりて  
師を田植の。○**丈の谷**（たけのや）古、水谷とさへ。○**山石倉**（やまいしくら）  
しんじり。○**八塔の岡**（やっしたのおか）名所。○**龜山**（かめやま）  
のちのち。○**石馬山**（いしばやま）は山あり。○**僧正の谷**（そうじのや）  
あり。○**東光坊**（とうこうぼう）は山あり。○**僧正の谷**（そうじのや）

本六

牛若丸河洲。○**九折**（くわさつ）は山あり。○**番**（ばん）は山あり。  
乙月上の寅の目七曲るまゝに川と隔て山の旅山あり内より  
一むらとすとて。○**木船**（きふね）は山あり。○**社**（やしろ）は山あり。○**龍王**（りやうおう）  
の池（いけ）は山あり。○**かみ**（かみ）は山あり。○**みま**（みま）は山あり。○**お野**（おの）は山あり。  
○**田末**（とらふせ）は山あり。○**大徳寺**（だいとくじ）は山あり。○**甘蓮**（かんれん）は山あり。○**雲林**（うんりん）は山あり。  
○**今宮**（いまみや）は山あり。○**雲林**（うんりん）は山あり。

七社 後中のほれゆふ下なる又まは男女の流と祈る流結ひ  
の守札出す祈るの心を社前の所と借リ又あつむむた寺  
の誓う流の 船屋山 山の形船よほり林は少華坊なる今昔の  
三時黒岩中七七条なる在流の流あり

○孤屋川 少中とくま中との方の川也。今福寺と  
軍我満云の山をなう今福寺と  
○金剛寺 藤井寺出  
の神南向也

○新安寺 藤井川内下地あり  
藤井寺の神南向也

○御室の仁和寺 仁和寺の神南向也  
仁和寺の神南向也

○梅の尾 山寺古く  
仁和寺の神南向也

○高松山 岩つと多し又利刀砥打身名物昔  
移すの意上人極る不。高松山 文員上人は山に位付慈川の外法流  
川の意楓葉多し高寺の流は。○小野宮 森野山一社の相連  
三絶の流はては胡の名物也。○小野社 社極  
連のありたをのふ所熱つのおよ有まの時多し  
は社も有といはれふとの系より成まの方なり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○双の園 意好 ほととぎすの不徒流 通照寺の堂  
はてはの多しとす。○小野社 社極  
松杉

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○太美 廣隆寺ふら系名一して阿波の尾南を葉野おろし  
と祈る又意を祈るハ山寺の葉野と初流の観世なる  
佛よ意を祈る流うふ小野寺又牛家ハ九月十日の祝祭  
庵に社といふ牛に系を葉野と流上る葉野の葉大矢とす。清涼の  
釈迦堂なるは九月十九日。○妓王寺 生々流 古く祇王祇女止念仏流  
用修寺也 裁あり

○京見 は中目の下小あり。○赤石 六月廿四日子日指世二日の

○日暮の所 は下りかき。○大山 丹波舞山。○櫛原 名不詳

○清洲川 は川ここの流屈曲

○小倉山 里。○二子院 日山の

○野宮 大正寺の心敷の

○天龍寺 龍山の棟。○醍醐 たいごのありき

○小倉山 花。○野宮 大正寺の心敷の

○小栗栖 西向

○山吹の殿 旭山

○通念 通念は所

○山吹の殿 旭山

○通念 通念は所

○山吹の殿 旭山

○通念 通念は所

○山吹の殿 旭山

○通念 通念は所

○山吹の殿 旭山

○通念 通念は所

不。名物。感りの。深也。あね。白粉。木の葉がきく。まの葉はけし  
名。名物。感りの。深也。あね。白粉。木の葉がきく。まの葉はけし  
下植村。竹。ふ。ま。村。り。用。の。許。等。ハ。ヤ。ハ。ハ。出。す。  
七。八。の。山。の。り。て。ゆ。夏。系。浄。福。寺。

大和郡山。高取。大石良。南都。旧都の地。川。一。系  
二系。ホの大治の名。今。四。野。の。速。

木辻。傾。塔。春日の里。春日の社。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。の。林。下  
の。官。名。不。多。一。ま。野。野。村。の。た。の。一。雪。の。の。次。三。山。

○辰の市 村名辰の目あり ○赤間 の清水 ○西大寺 名木柳

○富の川 今上宮川と云 ○斑鳩里 聖徳太子 ○法隆寺 七堂

○新田山川社 ○新新田 けしお拍屋と云造酒屋 ○三屋山

○当麻寺 千人の寺 ○達磨寺 ○行岡山 ○吉野

○山川里 この字根屋上 ○金の山 山 ○山

○吉野 白皇太后の御所 ○歌女 けしおを

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

○新新田 新新田の御所 ○新新田 新新田の御所

一二の寺名 板敷 樽門 宝蔵 本  
ありて 津波 ぬき 名おさう せん。まろしーの 牧。佐の つらき ありて 寺

○白旗山白旗川。初瀬寺 初瀬寺 初瀬寺 初瀬寺 初瀬寺

○椿市 初瀬の 小川 川。石上。布番の社。磯の上 磯の上 磯の上 磯の上

○お光寺 お光寺 借小 ありて ありて ありて。菅井首の跡。香常田 香常田 香常田 香常田

○敵火山 佐基の 山 山 山 山。香久山。身なり山

金山 金山 金山 金山 金山。名彦 名彦 名彦 名彦 名彦

河内。千早の珠跡。布忠川。伊駒山。古所の里

たう 漬 びり 洲 山 系 ときん  
何の 貝 ちうら 石 たこと 本 旗

と道明。道の寺 道の寺 道の寺 道の寺 道の寺

高お里。姥火 姥火 姥火 姥火 姥火

交野 交野 交野 交野 交野。伏太 伏太 伏太 伏太 伏太

牧方 牧方 牧方 牧方 牧方

和泉。山岸。和田 和田 和田 和田 和田



不名一山ゆきう山里ハ塘夕。壞壞の浦極鯛名産也大内  
日ハ映して朱とめくううハ。壞供御の魚ハこの浦と所科と  
魚名毎日大坂と極々所也。あゝ形和尔今所多ト云  
えり地極一の泉の東ナリ。

○松通の社七ツ玉の故より又云々。ちりり香名山芝居。津

守信乳り〜はもの社社。大仙凌仁徳寺の。津

多々船極多〜。目口所住吉口極。河狐土寺

小林ちの極改耕や多名の位伯前主の。石津石津川。本さ寺

○吹版の浦極。一路上。石津石津川。本さ寺

舟舟。船舟。名物。妙園寺大。水間寺二

信太信太。前前。信太信太。前前。信太信太。前前

○當園名物。多々有極時寺。多々有極時寺。多々有極時寺

名あり。名あり。名あり。名あり。名あり。名あり

住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉

住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉

住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉。住吉住吉

○月不沙干 三月三日の節に於て十日の節に於て 志里小野 信長公の御代に於て

所合の句小合の御代に於て 又唯神の灯籠の御代に於て

名本あり 竹野野 へのは 天下兼屋 和申敷 新法 の御代に於て

の御代に於て 浮洲 の御代に於て 天王寺 荒塚山 佛は室の

の大伽藍なり (徒) 亀井 の御代に於て 白石 の御代に於て 石 の御代に於て

の御代に於て 天王寺 の御代に於て 天王寺 の御代に於て 天王寺 の御代に於て

の御代に於て 天王寺 の御代に於て 天王寺 の御代に於て 天王寺 の御代に於て

○高津の社 今高津と云ふに徳吉の皇居の地 高津宮 高津の御代に於て

の御代に於て 高津 の御代に於て 高津 の御代に於て 高津 の御代に於て

の御代に於て 高津 の御代に於て 高津 の御代に於て 高津 の御代に於て

○天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て

の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て

の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て

の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て

の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て

の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て 天神橋 の御代に於て



ありし婦人なりしを此に在りて御所作の唱事なりありし婦人十四五才  
より肩とくさくさ歯は落れ髪もつけずし前より結いし婦人なりし男  
りし形なりし子湯入の形ありし女と定むるもの。妬湯女も服して  
ゆるゆるいしる名物竹細工人なりしもの。妬湯女も服して  
ゆるゆるいしるロソいて。鼓うはははのたは山は山を  
きりしと傳ふ。有馬の角士者なりし山

箕面山 箕面はあちあち天のまはる月宮に似たり。芥川 因に西

木代村 村の形は山に似たり。猪名野 山に似たり。山に似たり

日比陽地 地はたあそあやめ。投方 宿はあそあやめ

伊賀。上野 珠。花垣の庄。河波大仏。名物お花

**伊賀**

伊賀の事名は伊賀の事なり。伊賀の事名は伊賀の事なり。伊賀の事名は伊賀の事なり。

久右日。内宮。山百枝の松。子良の飯。宇治

二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。

二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。

二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。

二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。

二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。二見の浦。



たか。名物 勢つ社割 涌妙 吾志より出る五色のあじろ 盆山の月也

尾張。名護屋城下。大山日。執事田の社正月十日社 的矢と折。

○津島の社。ひまき寺 いしほのたけふと云。早雲の海邊。早雲寺

の里 日原いしほ。鳴海 なるうみ。方角寺 ひまき寺。浮出寺 うきだて寺

○穴生 あなうま。村より六月。招寒の里。平林の原。下波寺

日浦 ひのうら。麻り あし。名物 南方湛 大根 干大根

冬。河。吉田 津大橋ありけふより好よ。菊屋日田原日

○園地の日矢別。物 道中一の。矢別提 やまきの里名 旧流

○ハ橋 左名 橋時多 村の。名物 名物。風来寺 天台

○御油宿。赤坂宿。地廻船 ちまき船。小糸村 万葉

○名物 雲母 吉良山より出る 名倉 小笠原より

遠江。惣川 津。横原 かえり。濱松日 カスイ 曹洞宗

○新庄 新庄。味方 うまかた。宇山 うやま。塩見坂 しほみざか

○天龍川 てんりゅうがわ。天龍川 てんりゅうがわ







かろの名物 ハ夫修  
とて山修

**相摸**。右塚省。後沢宮 社なりとくの寺後沢と云。石清水山

大山の細。馬入川 たつ川と云。下野宮。法越系。省

河原。大磯省。少磯。時々原。小磯。後磯。早川

。芝柄山 芝麻りとも 柄時多。竹の下道 一おろるる。八雲山

ころの山のりけり。青野系 とてり。我の里。酒匂川 なり

。小田原 下。風あふ村 とてり。長兵山 紹太寺 る地と云

一本此

少田原 下。子あき寺 とてり。箱根山 とてり

たこの山とてり。畑 不名なる屋有也。板 板の

。かしの坂 とてり。水 とてり。二子山

。湖水 東のけり。山 とてり。鎌倉山 とてり

。尉 とてり。山 とてり。由比の原 とてり

。里 とてり。雪 とてり

。雪 とてり





海晏寺 曹洞一山扱一して女系の時を然習はる

濱側 この山をより小なる 終り 情 沈る 荒

大井 村外にあり 大森 和中敷 大陣

河系 川 岩名物 長見 村まにり 中野

福谷 有 杉田 村 樹多し 花の咲く物多し 田

池 藤 麻布 白金 環をき 香貝 揚 山名客 温谷

長者丸 目黒 目黒川 石動をたの苗 祐

天寺 九孔佛 可縁和尚因基 池上 山門寺 日蓮宗 新川 天赤

山の堰 新川 黒谷 内名客 成子 山

角竹 村に十二の社あり 熊せとりの守ある 定橋 古名あり 中野

水車 川 中野 室見一の持びり 中野

中野 遠地 圃畑 駒 今駒場と云うつ 野

井 池 日本 杉田 堀 魚の井 野

武 今中野と云ふ所のあり 野

の里 こよりの。柏木村 柏木門と云ふもの。川越 さき

△昌平橋 旧名。聖堂 仰高門 釈宗 二月八日。所業の氷

傳通院 十八檀林の月。牛天神。赤城の神 外は。関口

車。子指田村。護国寺 釈世言 弓場。目白不動。雜司

谷 鬼子母神。高田。戸山△神田の社 社主は赤松氏は意に

湯乃天神 赤松氏は意に。東上殿山 寛永寺 上野 忠の

法 法を以て二帝と俗に小。西大師 毎月三回。護国院 二月三日

と云あり法人の持寸。車坂 下谷り後。存風坂 日下谷全熱の

恐の池 お白の蓮の西より湯り又湯屋かかせ。向之園 今柳宗家の

根山岸の里 源定家より又孝。象光寺 祿宗。日暮里

駒込の富士 法同社の母祖目指も。吉祥寺 字。王子村。全橋

揚子 揚子より九香湯と。稻荷の社 王子村。飛鳥山 揚。道灌

山 藪多。嵐山。深井村 伊三橋。泉野 板橋。戸田川 揚

板橋宿。熊谷寺 熊谷。後父山 札下。浅草橋 揚

ちんね。駒形寺。あり合。花川戸。宮戸川。川。深き

と親世音の尋場。三月十日。義市。土。月。日。浅草の紙

三社権現。形。日。宗。姥。池。石。の。籠。廿。敷。の。馬。市

東中形寺。日輪寺。時。廣徳寺。各

祝言寺。五。山。小野。池。板。箕輪。か。り。き。正灯寺

大音寺。浄。新吉原。傾。城。の。部。五。丁。所。し。る。ま。屋

衣紋板。日。中。堤。道。哲。之。浦。を。代。目。言。難。く。真。空。を

山谷堀宿。待乳山。浅茅。系。の。名。色。土。出。見

千住宿。虎。渡。花。又。村。上。村。△。西。岡。橋。納。涼。茶。屋

迴向院。約止橋。石。多田。茶。師。之。圍。稻。荷

菴。清。地。村。杉。林。社。牛。の。御。前。社。弘。福。寺。禪。宗

長命寺。は。四。雪。見。牛。島。寺。名。山。若。子。茶。屋。才。母。寺

偶田川。越。後。川。狸。首。西

木下川。茶。師。吾。妻。の。本。母。連。が。梅。屋

亀井天社今龜戸。羅漢寺△永代橋

。佃島位吉の社。深川。八幡社。富園。永代島

。永代寺真言。洲崎弁才天社。二十之間堂大寺

。毛唐寺淨土。木場材木。靈山殿寺淨土。扇橋

。灵山寺浄土。女木沢。中川新治の所。形堀川弁

。宇土田所。鐘の渡。草場所

。甘茶所毎月の日十二日。洗炮所。魚梳場

中川 丸菰 中流 橋倉 出例 かし

。常相家。杜能うら田。小石川 白山 偶田川。螢布十番

。川新田。月と。比比

。虫野。雪向。江戸野

。花子。西瓜

。越瓜。廿名。西渡。廿五。大根

。大根。練馬。深代寺村。草茎。赤山。夏火





家の渡。飯沼にほろち。坂東大島川あまの川。中田の川。

。小金の糸牧の駒。牧土の家多し。勝間田の池。勝鹿の

浦河川。小川。揖取カトリ。香取の社。かづの浦海

。池子こしの。船つく。勝之。船細すき。約。鞋かき。外い。く。魚おと。り。

。正覚坊かづら。泥垂の。て。く。か。揚ま。い。て。波間よ。か。を。出す。村ハ

。玄間の。入江浦の。継橋り。示の。手見名ま。弘法

寺日蓮宗。名を。国府の。基を。古義。総寧寺源。行徳家。

省。堀江村。描実ガキ。女カレ。玄間うら。の。村漁。と。業と。す。めハ

。金谷カネヤ。布フ。鏡キョウ。弁ヘン。才サイ。天社テンシャ。今イマ。葉エフ。新ニホ。いハ

常陸。水戸ミヅト。珠タマ。土浦ツツ。日ヒ。鹿カ。名ナ。山ヤマ。浦ウラ。崎サキ。山ヤマ。りリ。新ニホ

。玄間の。鹿カ。名ナ。山ヤマ。社シャ。は。北キタ。を。ま。り。山ヤマ。と。を。鹿カ。多タ。く。し。ら。め。り。ま。え

。要石ヨウイシ。所トコロ。新ニホ。庭ニハ。を。揚あ。り。湖ウミ。来キ。苦ク。板イタ。又マタ。新ニホ

治チ。郡グン。名ナ。筑波山ツクバヤマ。なハ。みミ。の。川カハ。揚あ。り。川カハ。流なが。曲ま。り。池池。はハ

。義和田ヨシワタ。浮う。龜かめ。は。魚い。つ。く。山ヤマ

能くおとく  
大くらし

近江。彦根城。水口日。膳所日。大津東湖

西の境なりてここの丁より車道。相坂山杉村瓦

お坂宮園の御神は熊丸の孫と云ふ。宮寺

三井寺大はの若のたけ田に降ちと云上のせき山

鬼子母神四月十六日。石

山寺親世音の湯場なり湖おの西ヤこの南におる。西本陣

打出の候湖の邊。雲谷ヤとくろ山の間四月

坊田く丸くうとくうてくまはひお。坊田中あま地柳と云ふ。志賀

浦山花の。岸の里千傳仙。浮御堂志賀。湖

おの湖湖中のを山からたくの。弁財天社。白

日吉山王社ひえの山。比良の山比良宮。湊浦

野永源寺女人の系法。志賀

白雲の社白雲の社なり



あつこしけの種下し  
月の養育と云ぬ  
今例 者。美うる日。杉井日。赤坂日

○名物 所 志、嘉村より出ず 俵戸まゆ 檜 檜若村より出ず 紙まき  
扇地野 温石 山扼子 柿ぶ、三代より出ず 関山刀

聖腰 岐阜、粘持

飛浮。高山株。位山位山の株とりて名と伝る。名物 行山 面捕

桑栗 橋栗

信濃。諏訪株。諏訪の社多し月さる麻七。湖あり富士の山

古渚株。高取日。上田日。杉井日。高

本世一

遠日。飯田日。川中島 日坂日。所村山植わさる

七月。戸原山社け山あり。善光寺山地、この寺の民戸あり

木曾まきのの麻きぬ まきののり種。蓮原いすのの系

伏虎今、小法。山のつらなり古一全

○文科山なりの里。田毎の月。姥持山ちく

相系牧の駒。望月の牧日。軽

井沢者。笛吹吹。名物その名より出る

麻きぬ木着うり出

**上野**。既橋株。沼田日。佐井の舟橋。御香保

の沼 あやめうきらぐさ。志保山 十ら。妙義山 信濃の

。榛名山。利根川。茂林寺 結林。大光院 檀林の内

。善道寺 結林のま。名物 佐野白草。利根川鯉 名物の内

**下野**。烏山城。大田原日。壬生日。宇都宮日

。日光山 佐古ニそる山と云岡東一の。蓮花河 山谷の

本世

。油飯 日光責。兄弟契 けふの人花見の。道徳

心 鳴くもこ。山黄の穂。かみまん 割。宇都光

。流 二丈と。流の尾 水名と云。きん 流。流

。重見の流 流の。きん 流。流 流

。中務の

。大谷川 きん

。室 の。那須 の。殺 の



七ふく君を祀りてていふ。末の松山海辺なり山と波をえん  
ふみ人あつて流りまを祀る。ちうのうらと云はる海神  
をある人うちあり。陸軍の浦邊なりふかしの志布島とし  
まうを祀るなり。

の社系。金花山 あひの花さきと云ふ。松島 まの浦島あり松島根を寺。松島 まの浦島あり松島根を寺。松島 まの浦島あり松島根を寺。

又磯も松もとど内のはり江の中三三十七島一は  
二十二浦三十一島七十二島ありと云ふ。富の山  
二階つらの。瑞岩寺 松島より七ききうん塔十三。富の山  
くくを祀る。

大仰寺 松島より松島眼下。姉葉 あひく。法きまの松

平泉 つらつら。衣の関 松島より。衣川 つらつら。本世四

岩の松。衣川村 たえ。光堂 衣川の四きよ達立の寺

金を。高嶺の塚。はね富士 岩木山。青森 つらの内法

岩の松。外の松。魚籠の松。名物 仙臺納 紙布

仙臺より出る。佐木松 松島より。南ア水碓 日高

多具利花 松島より。松前名 あひ。松前名 あひ。松前名 あひ。

温納 松島より。松前名 あひ。松前名 あひ。松前名 あひ。

出羽。糸沢。山形。秋田。新庄。

○本名日。羽子山 林より四十丁の名の所也。南谷 谷の深き

あつ風名よ羽る。湯殿山 四時雪かきまき水柱ありて湯の

○梵字川。月山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

○月山と名。立石寺 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

のとや候して舟のつかして。山 山より下まきり。山 山より下まきり

云難不。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

○能周島 幽居の。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

奥好の候よ。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

はあふやま。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

て系なり。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

**若狭**。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

しりつ。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

立山。名物 草茶。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

**越前**。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり

○揚山日。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり。山 山より下まきり



○荒乳山よと人河。湯尾峠東のまふやの湯尾。あつ。猪波沢。雪の岡。熊本の物つら子おむつのり

○玉江日本江川。三圍をせあ。敷ツルカ。名物をせあ。名物をせあ。なま紙多磨。草草。大嶺社。上ウカ。のりのり。あまは魚あまは魚。あまは魚あまは魚。あまは魚あまは魚。

加加え。金沢城。大聖寺。日。白山あいの白山。白山あいの白山。白山あいの白山。

○らいのる。印の半少。白山あいの白山。白山あいの白山。白山あいの白山。

の渡山川。小松城。松竹名。古古。名物名物。

おがきおがき。小松城。松竹名。古古。名物名物。

能也能也。のこの島山のこの島山。焼石川焼石川。

。名物名物。鯖鯖。名物名物。

越中。富山富山。砥波山砥波山。左山左山。

。印坂印坂。印坂印坂。印坂印坂。



丹後。田邊城。宇野日。九世戸文珠。成相東入海

之系がしりた系。与謝の海八海。天の橋をたのめ一里もゆあが

の敷きもあま。村くあり入海出例あつて松並。おの江家おき勢あつた。

切口も様事ありきれとの之海也。穴生アキナの里いらい。名物物。

但馬。出石城。豊園日。入狭山死時よりこり。琴

山。箱着山。むらぶの浦うらぶの浦。ちの白溪

板仕師板のまよの流まよ。精尾まよの流まよ。

まりの流よりいしるを扱て。名物名物。車牛車牛。釣釣。山椒山椒

因幡。多取城。いぢく山いぢく山。一休寺一休寺。

和向居位。之角山スミ。名物名物。

伯耆。系子姓。大久寺源頼朝高。名物名物。

出雲。松江陸。廣隆日。大社。八雲山大八雲山。

よな。佐陀の浦佐陀の浦。同社。七所村。日天神

。敷ヒの川。松江松江。十二ウツラヒ。名物名物。



和州ち敬 ちちり子 龍子の  
写すまひしてかく名付とし。梅雨の松 姫流。名物 ちち  
昭石の瑞情 赤梅庄 は田の梅 夢ま中梅のまなご 瑞生屋  
云下より出 書寫の行 日争 昭石の記 赤るか

美作。ば山城。冬木の上山 別。名物  
治情 吉田次  
徳生木 長兵夫

の記をふと云あり  
は下分出 珠抄あり

備前。園山城。神村山。厚美の浦。牛窓 赤  
鳥籠と  
浦の馬木

坂戸の渡 伏木 赤高。名物 梅庄 やまの梅  
つ不 ころろ ちちり

龍神と云あり 大津子  
ひくく 柳津 けり

傷中。松山 峠。吉備は宮  
谷を及ふ 大らふ 谷をありて  
鳥籠と 吉田と考。二万

の里 こまの里く ちちり。まひの中山 備前 傷中の  
ちちり

梅雨の中山と云あり 古今。名物 小菊 赤  
まひの中山と云あり 古今。名物 赤く 金山石

備後。福山 埜。新の浦 赤功 皇后 赤と云あり 赤と云あり  
赤と云あり 赤と云あり 赤と云あり

尾の尾 尾の尾。名物 眞竹

安芸云。廣名 山城。敬名 山 敬名 山  
敬名 山と云あり 敬名 山と云あり

おて 絶えたり 絶えたり 絶えたり 絶えたり 絶えたり  
下まで 絶えたり 絶えたり 絶えたり 絶えたり 絶えたり

海のあち中のまき。名物 ぼくら お昌 雷障 かき めくると云魚  
んもそと 坊とくし。 のまがりともや 西條橋

周防。磐石山 大山ありて。錦代橋 日本大橋の二ツあり

室積 あちこちとて年及のま地こ。電戸 はもと借よ。名物  
山代ま紙 湯田の二月筆

長門。新 城。赤川 下のまもと云山。和布川 カガ の社

十百畝口の和神祇の人和布川よりて海底に入るとして。所司の  
りて元能の神あは体あふやまの社と云今いせと云のうらなう。所司の  
関は下 和布川と云や。まきう。し由。現の海 地系がり びる  
まの陸のりりて鴨のまき 文也。

名産 新マキまきと云ふきー新まき  
基石 印紙

紀伊。和哥山 城。熊野 らまの浦に居て

同持現の社 社宮。粟島 の社。蚊田村 は浦に建

高野 山寺。伊原 の橋。女 の道

成子。紀三井寺 おまね礼。新川寺 のいせ山

形多 ならのち根。紀の関 うらちと云ふとの関  
浦 日邊 湊 多め 町。弱 カ の浦 行男はハ

まげら

出寸。玉はる山いふ坊。日社。名物。魚。白蜜。

出寸。炭。松。魚。の。若。多。り。籠。多。糖。泥。川。

出寸。伊。松。山。の。け。り。出。寸。若。多。り。松。お。ま。振。糸。

出寸。其。石。の。多。り。日。言。松。年。日。言。川。者。

津。路。との。り。る。山。の。山。松。帆。の。浦。の。り。る。山。

あ。り。る。山。

阿。波。徳。島。株。鳴。門。の。浦。大。か。り。お。呼。戸。の。り。る。山。

戸。名。物。火。う。ら。え。火。う。ら。え。出。寸。鳴。門。の。り。る。山。

王。佐。言。知。株。古。徳。山。室。の。戸。松。大。呼。の。

の。字。と。り。て。お。ま。り。る。名。物。駒。糖。四。圍。ご。ん。ご。ん。松。大。呼。

三月。三日。の。夕。下。り。る。帆。柱。島。ま。り。て。通。路。の。十。六。を。り。る。

伊。豫。板。岩。株。松。山。日。今。津。日。二。島。の。社。松。大。呼。

面。と。り。て。お。ま。り。る。名。物。と。ま。字。松。大。呼。の。十。六。を。り。る。

松。大。呼。の。十。六。を。り。る。

淡。波。言。松。株。丸。扇。日。金。松。大。呼。松。大。呼。

八島 高寺。壇の浦 古戰場の道に於てハ三ノ木の礼  
而あつて居りてハ十八ノ年ありハ

高島 志渡寺 神宮御世考  
大の池。志渡寺。神宮御世考の月。大山山あり。古

山。名物石塔 石宮御世考や西あり。糸。志渡  
山。名物石塔。石宮御世考や西あり。糸。志渡

筑前。福置株。りおの 杉平あり。一王。白ゆ。小島  
少て。其の。志渡。福置。月

可也山 赤也。無ね。海。生。如。和。年。白山。小。島。東。山  
の。西。土。云。生。如。和。年。白山。小。島。東。山

情多 志渡。和。の。電。力。山。糸。れ。い。さ。う。川。萱。子。園。和。人  
情。多。志渡。和。の。電。力。山。糸。れ。い。さ。う。川。萱。子。園。和。人

木 お。て。他。作。の。水。萱。子。園。小。島。東。山。糸。れ。い。さ。う。山。中。不。平  
木。お。て。他。作。の。水。萱。子。園。小。島。東。山。糸。れ。い。さ。う。山。中。不。平

木 お。て。他。作。の。水。萱。子。園。小。島。東。山。糸。れ。い。さ。う。山。中。不。平  
木。お。て。他。作。の。水。萱。子。園。小。島。東。山。糸。れ。い。さ。う。山。中。不。平

筑後。久留米 株。柳川 日。子。喜。道。寺。古。西。の。和。島。子。島  
筑。後。久。留。米。株。柳。川。日。子。喜。道。寺。古。西。の。和。島。子。島

社 あり。一。招。川。和。後。名。物。之。比。か。さ。う。和。花。和。葉。和。葉  
社。あり。一。招。川。和。後。名。物。之。比。か。さ。う。和。花。和。葉。和。葉

九列 あり。柳川。を。多。し

肥前。佐賀 株。高津 日。月。和。平。島。和。平  
肥。前。佐。賀。株。高。津。日。月。和。平。島。和。平





中は天行  
き後後

日向。版肥イロヒ。賤カサ。日。縣日。佐ササ。日。極ツク。嶽

明神。高タカ。ち。か。の。嶽。○。まマ。り。の。山

大隅。鹿カ。見ミ。高タカ。の。社。○。多タ。根ネ。の。山。○。名物ナモノ。極ツク。の。山

薩サツ。ノ。鹿カ。見ミ。高タカ。の。社。○。多タ。根ネ。の。山。○。名物ナモノ。極ツク。の。山

○。まマ。り。の。山。○。かカ。の。嶽。○。名物ナモノ。極ツク。の。山

去ク。岐キ。○。揚ヨウ。太タイ。田テン。○。呼コ。子シ。の。山。○。名物ナモノ。極ツク。の。山

射馬。肩中カノナカ。嶽。○。海ウミ。芽メ。山ヤマ。日ヒ。浦ウラ。○。流リウ。ノ。山。根ネ。○。方カタ

○。百ヒャク。考コウ。○。名物ナモノ。人ヒト。参マシ。○。石イシ

○東海道名物

○大森オオモリ。和ワ。中ナカ。敷シキ。○。六ロク。脚ケツ。○。系ケイ。○。雀セキ。見ミ。○。生ナマ。麦メ

○。茄カ。○。南ナン。湖コ。○。梅ウメ。沢ザク。○。結ムス。録ロク。○。小コ。四シ。郎ロウ。○。山ヤマ。○。嶽ツク

○。本ホン。市シ。場バ。○。山ヤマ。○。岩イワ。淵ノ。○。蒲カマ。原ハラ。○。由ユ。井ヰ

○。名物ナモノ。○。無ム。○。名物ナモノ。○。名物ナモノ。○。名物ナモノ



○多摩上丸 女ゆゑ入る所ハくしきら 幾時とて極つて 信香保  
○那須下丸 湯之奥列の山中か。お宮まゝ。白山  
○立山山中。塔の給。但る。嬉所 犯な

○近江八景

○比良暮雪 矢橋淨帆 石山秋月 勢多夕照  
○三井晚鐘 豊田彦房 彦井晴嵐 幸崎春雨

○南都八景

○高園坐忘 依保川景 栴込池月 春日坐麻  
○之々山寺 雲井坂雨 东大寺鐘 夷橋行人

○金沢八景

○内川暮雪 称名夕暎乙トモ 乙橋陽帆 小泉新雨  
○阿曇夕照 采方彦房 阿曇晴嵐 瀬戸秋月

○六玉川

○武蔵玉川酒所やうしき 依保川 陸奥玉川 此川未だのりて 此川未だのりて

山珠の山山珠の山 井原の玉川井原の玉川 折尾の山折尾の山 近江の川近江の川  
新羅の山新羅の山 紀伊の山紀伊の山 高句麗の山高句麗の山

○外國

中華中華 南京南京 山東山東 廣南廣南  
朝鮮朝鮮 蒙古蒙古 高句麗高句麗  
天竺天竺 琉球琉球 大宛大宛 東寧東寧 東京東京 東埔寨東埔寨  
暹羅暹羅 莫以爾莫以爾 阿蘭陀阿蘭陀 韃靼韃靼 小呂宋小呂宋

蝦夷蝦夷 崑崙崑崙 長崎長崎 應帝亞應帝亞 檳榔檳榔  
蘭蘭 長人國長人國 女人國女人國 女濱島女濱島 金山金山  
東夷東夷 南蠻南蠻 西戎西戎 北狄北狄

○和漢人名

舍人親王舍人親王 入鹿入鹿 逆臣逆臣 池尼池尼 一休一休  
一遍上人一遍上人 儀禪師儀禪師 殷討王殷討王  
六孫王六孫王 源經基源經基 代云代云 魯般魯般 盧岡盧岡



劉伯倫 酒と名 柳下惠 人 王仁 百海公の王 王戎 名

王質 仙人の墓とて斧の柄杓 王戎 名 王昭君 宮

行成 姓 覺澄 根東寺 覺明 之井の傍 川成 百海氏

春日 カスカ 柳本紀信正 子 魚実 姓 輪漁子 名 顔回

孔子 の 韓退之 文章古今 郝隆 七月七日月中の事 賈島

女子推 山中小 寒山子 拾得 良香 名

讓 至君の位を譲りて 高徳 徳後

道春 飛山子 道灌 太田氏 道風 名 武内宿禰

有言 ナシ 沢菴 小川 道榮 名 他阿 名 丹溪 大医 丹霞 名

大云 名 姐已 殷紂王の妻 丹溪 大医 丹霞 名

裁達 名 達磨 名 道満 名 蓮生 名

衣通 名 宗魚 名 宗祇 名 宗連 名 即非 名 但来 名

孫敬 名 孫康 名 孫晨 名

孫敬 名 孫康 名 孫晨 名

孫敬 名 孫康 名 孫晨 名

孫敬 名 孫康 名 孫晨 名

孫敬 名 孫康 名 孫晨 名

平家物語 東の源氏と西の平家

南郭 和方の進人 筒井淨妙 一末法師

老萊子 孝行の事 宇治重相

浦守子 仙宮入る二百早

教經 のとれ 権聖魚 孝行の事 大塔宮

廣澤 近世の 黄石云 孝行の事 屈原

郭巨 孝子 貨狄

華駝 名匠 桓景 九月九日山に上り酒を

康頼 孝行の事 山田基 孝行の事 楊貴妃

將門 平家と 松浦依用 孝行の事

曼陀丸 孝行の事 摩耶夫人 釈迦の元政

玄魚 太平記の 謙信 孝行の事 阮籍 七賢

咸 日上 稽古 日上 古田織部 孝行の事 佛頂 世尊

普化 藏傳 文微明 孝行の事 護命 孝行の事 小督局

...

...

...

...



高倉帝の御世に 虎岡 東のちの 因姓 くわに 近衛 近衛の民

一生不犯の女 つねに 去 つねに 孔明 孔明 袁彦道 袁彦道

特実の傳教 最 徹書 記 記 か 御 御 御 御 御 御

北殿司 日 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手

手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手

手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手

手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手 手

負臣 其の上 負 負 任 任 坂和田喜六 永井家の臣和の連

塞云羽 人間萬事塞云羽 九 九 紀 紀 吉 吉

九 九 紀 紀 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉

紀 紀 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉

吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉

吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉

吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉 吉

将惠 梅の尾より付る如程と 光彦 鳥丸大田之 眉间尺 楚人

之浦大助 百大車 順 和厚又 志之見 大師 尺八 と云ふ 人 志敏

めち 不位す 阿と 親 志 一向宗 俊 兼 坊 年深 志 志

之と大師 山門の生々 性 山より 盛 親 信 部 半

仁 伊豆氏 彦 住と大儒 遮那王 九九 生佛

平家 を 七 仁 周公旦 成王の 司馬温乙 志

朱買臣 後令 子猷 王 猷 子徽

子洛 志 車 能 志 志 志 志 志 志

笑ひ 一人 志 横川より 役 老 秀 御 人 丸

系 清 費 老 志 兄 志 屋 師 直

高 人 志 菴 志 目 志 覺 志 武 志 武 志 武

志 浮 志 岡 志 惺 志 窩 志 清 志 明 志 明

志 青 志 牛 志 和 志 尚 志 節 志 節

志 善 志 守 志 節 志 節

志 節 志 節

志 節 志 節

蕭何 漢の祖 西王母 仙女 赤松子 仙人 西施 越の美女  
 須賀雄 叔父として名をとり 純友 謀反 鄒衍 作て呉す  
又伴と吹て 故字即を

○人名追加

伊豫女 えせとの支原の 犬云 星のうへのつらみ  
 今泉五郎 孝子 駿列 池之坊 系六角堂 喜雲 基の上  
 因累原云清 ちやりや 胞暖 女の名  
原氏 吉原 池之上 は外ひざら こつち

花垣九七 たのこり 袴垂 盗賊 林又市 伏見 破竹 リツ  
 梵字漢字 とくにがら 兵部卿 父源  
 表太 系住 折居 系住 長田 系住 乙子 九  
 大納言 は 梳久 大坂 赫夜 姫 系和 録  
 幸若 音曲家 山石 寒 蒲田 又ハ 神田  
 近江 系住 柏屋 系住

樂人の情<sup>ノ</sup>位  
うれし 吉田<sup>ヨシタ</sup>  
うれし 良雄<sup>ヨシオ</sup> 大石<sup>オオイシ</sup>  
良清<sup>ヨシキヨ</sup> 源氏<sup>ゲンジ</sup> 良清<sup>ヨシキヨ</sup>  
たこの時<sup>トキノトキ</sup>

道森<sup>ミチモリ</sup>  
禁裏所より  
しやまき名 新秋<sup>ニホアキ</sup>  
竹取<sup>タケトル</sup> 笛吹<sup>フエフキ</sup>

立鷹帽子<sup>タテタカカピ</sup>  
宗棟<sup>ムネト</sup>  
人<sup>ヒト</sup> 宗棟<sup>ムネト</sup>  
外郎<sup>ソトノ郎</sup> 右近<sup>ミナトノ</sup>

祝王<sup>イハヒキ</sup>  
馬命<sup>ウマノミコ</sup> 婦<sup>メ</sup> 外郎<sup>ソトノ郎</sup> 右近<sup>ミナトノ</sup>

久采<sup>ヒサキ</sup> 仙人<sup>センニン</sup>  
安川<sup>ヤスガハ</sup> 五郎<sup>ゴロ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

大納言<sup>オオノナゴト</sup>  
寛蓮<sup>クワンレン</sup> 安川<sup>ヤスガハ</sup> 五郎<sup>ゴロ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

松見村<sup>マツミムラ</sup> 雨<sup>アメ</sup> 外郎<sup>ソトノ郎</sup> 右近<sup>ミナトノ</sup>

揚石<sup>ヤウシ</sup> 松見村<sup>マツミムラ</sup> 雨<sup>アメ</sup> 外郎<sup>ソトノ郎</sup> 右近<sup>ミナトノ</sup>

又五郎<sup>またごろう</sup> 待智<sup>マエチ</sup> 侍<sup>シ</sup> 佐佐<sup>ササ</sup> 佐佐<sup>ササ</sup>

坂本<sup>サカモト</sup> 二口<sup>ニグチ</sup> 能也<sup>ネヤ</sup> 越九<sup>コシノ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

惟光<sup>ヨシヒデ</sup> 出目<sup>デメ</sup> 江<sup>エ</sup> 面<sup>オモ</sup> 出目<sup>デメ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

葵上<sup>アヅマノ</sup> 明石<sup>アカシ</sup> 志<sup>シ</sup> 佐<sup>サ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

城助<sup>シロノスケ</sup> 助<sup>ノスケ</sup> 吉<sup>ヨシ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup> 定光<sup>サダヒツ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

相<sup>アヒ</sup> 台<sup>ノ</sup> 西<sup>ニシ</sup> 佐<sup>サ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

相<sup>アヒ</sup> 台<sup>ノ</sup> 西<sup>ニシ</sup> 佐<sup>サ</sup> 兵清<sup>ヒサキ</sup>

カウイ原々の 更衣所母 桐大藤門今ハ福芝居の屋元之之記 松ハ源安善の  
 幼子甘くち大きくと 伴伯古橋氏善治師 銘六一知揚ら師 明珠  
 呼ハおのぬと云女ナリ 甲源師 命松丸魚好法師 源次郎漁人 似我太鼓  
 系 鹿武左門吐の上より江戸 小進糸糸が舞る坊友 銘坊銘坊  
 山田氏府修師 鹿武左門名川西子傳 似我太鼓  
 山田氏府修師 鹿武左門名川西子傳 小進糸糸が舞る坊友 銘坊銘坊  
 左甚五郎 良工 黙阿弥首井順昭  
 捨女母は玉女堂の産  
 五ノ六

○佛名

釋迦誕生 出山 阿弥陀如来 多宝 大日 藥師 瑞  
 瑞光 文殊師利見又殊 普賢 虚空藏 觀世  
 音千手 十一面 三十三面 如意輪 聖觀音 勢至 地藏  
 將軍 五大力菩薩 大聖不動俱利伽羅 矜羯羅  
 淨三世東方 軍荼利南方 大威德西方 金剛夜叉北方  
 毫潔明王 孔雀明王 毘沙門天 梵天壽觀

ふん天いんてん 持玉 唐目 塔長 摩利支天

韋馱天 觀音くわんおん 聖尊せいそん 摩訶止持まかぢぢ

波利末女 吉祥きちじやう 吒吒たた 吒吒たた 天 無才むさい 天てん 妙善めうぜん

閻魔王 五逆冥友 俱舍くしゃ 淨じやう 葬さう 隊たい 阿闍あせつ 阿闍あせつ

彌勒みらく 菴樹あむじゆ 井い 盧遮那ろしやな 佛ぶつ 飯網はんむ 薩王さくわう 金

剛童子 鬼子母神 十羅刹 青面金剛 東甲

前童鬼ぜんどうき 鬼き 前鬼ぜんき 妙童鬼めうどうき 鬼き 迦陵頻伽かろうひんが

羅漢らかん 五百ごひやく 舍利弗 日苾 迦葉 富

提那 羅睺羅 石旃 傅大士ふたうし 成なり 小兒せうに 成なり 小兒せうに

系 賓頭盧 蓮

○刀撥治

天因てんいん 之祖のそ 宗近そうぢん 不行ふぎやう 釋しやく 大士だいし 夏氏かふし 子こ

子院こいん 之信のしん 近忠ぢんちゆう 則宗すくね 第一だいいち 無初むしゆ 子こ

廣正宗系 舟入ふねいれ 通とう 宗そう 經きやう 貞宗てんそう 新しん 秋あき

貞家 正光 保昌 青江 びん 正安 比前 尤く見

村正 名保 住 勝因 海か 助 忠改 はの 助

正輝 日 正助 日 義助 住 澤列 忠吉 忠 因彦 金山 住

海のまゝ 虎徹 比の 忠廣

○ 後夜家 忠綱

祐家 少家 少家 徳家 義家

顕系 宗民 正安 親 比の 忠

○ 鋸師

埋正 安次 比尾 氏 国廣 比 若紫

○ 和哥 四天王

定家 家隆 西行 雅経

○ 今

頼阿 兼好 浄辨 慶運

○ 和様 能子

大師流 定家 一 善房 一 近衛 一 行成  
 棟 一 きり師 滋古 一 石は水坊釋の  
又松をまきと号 光悦 一 中京  
 宗澄 一 山崎の住 名高 一 法橋 信内 一  
 建阿 一 於通 一 小舟氏 志津庵 一 大橋 一 そら  
 玉置 一 半助 寺澤 一 友孝 石川 一 勘助 本目 一 五右  
 須藤 一 冬彦

○画工

巨勢金岳 善書ありありこの名画あり 足 齋 多の信正  
又和台とありと後を 良秀 佛師の焼こととて 土佐光信 土佐の信正 明水 ヤウテウ  
祖と云 兆典子 勇我 枕足 武具 一 休和出 雪舟 びくんと号し松尾  
と云 又大明一り 少翁 山本 舟 法相 繁守 持勝 正 信 宗 示  
言舟より 同之信 永仙と云信子 同 隆 系 助 之 信 之 云 同 光 信 永 信 子  
古法所し 孝信 光信 同 守 信 探 幽 斎 探 信 守 政 探 雪 寺 定



日尚信 主了の助 安信 永吉 常任 若井 如川 周任

雪信 五平と云々 友和 必徳門人 山樂 先代

春信 春信の繪 英一蝶 之来多 凉山 山

大黒の魚 雲谷之文

○唐画

徽宗皇帝 宋の世 趙子昂 書画の 王维 詩

东坡 文徵明 畫 牧溪僧 玉碯 夏珪 馬遠

錢舜 彩色 李公麟 日 李安 南

月山 元章 元章 之章

○茶博系人

東山 敏 古田織部 宗和 金

少休 遠列 石列 相阿弥 日明

紹智 洛南 宗且

光琳 画 江月 大徳寺

宗南 大徳寺

ゆりの珠光 南浦保名子の傍 土者 光琳の父又陶器ノ貫  
所ノ 洛陽山科ノ侍子系家臣葉家ノ 道幸 泉列の彦  
入るる 道幸 道幸柳の名

○秀哥くろく矢名はまきくろく

下りえのおね 後成 おくらの丹後 羽後 沖の石は渡

破勢 姉 早おかめ 徳屋の院 徳子の小侍 佐

おねのまね 徳大寺 実定おとくろく 吉の信正 長柄寺花林院別当 永縁

沢田の松河 井松お 雅兵衛 手紙のまね おね 吉の松澤

和歌天 王の内 日比の心廣 招月菴 山徹門人

○游女の名

中の君 口口愛白お道 子 室 那基中州云 麻花 何花集

珠名 上娘 千果 白松子 戸々 都屋系仲良 玉柳 妓女

法師 布枝子 妓王 平信重おまき 妓女 妓王 佛 後尼

久乃 お宗り 子 地獄 和者

ま津 おと 宮 徳法尼 道下 教 高津

母 桂木 山口西上人 妙 山口西上人 虎 大坂 綾 神 初君 多  
 油 み 班女 上 阿古 お 痛 生  
 白女 白川 桧垣 白川 長 い 宮木 白道  
 如意 末 小 親

何 旅 昨 末 多 好 象 末

吾 妻 戸吉原 雄 三 中 日 濃 葉

総 角 日 九 日 山 日 玉 日

おは

○ 茶 罌

孫 四 郎 焼 か 夏 山 後 四 郎 山  
 花 後 四 郎 山

系入つた上。中合目屋を流す。婦を

。朝日寺。支那の地。玉拍

。石松。石松。石松。石松。

。石松。石松。石松。石松。

。石松。石松。石松。石松。

。石松。石松。石松。石松。

。石松。石松。石松。石松。

。杜若。系への明の平らりとく。多羽子。系白

。屋焼。系白。河角系入。始と終とを修めし。

。行基焼。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。



○長板。袋柳。藤笠菓子。うま路く柱のうま路り  
○数寄の屋敷窓。系會。路沢油比。炉竈雪踏  
○松皮。竹の皮笠。釋毛。うま路の系。濃毛

○瀬戸竈取

瓶子。由 祖母懐きまけ下り  
位佛の由 志されいりいり 書あ木か由下り 屋合り 日  
鷄孫の由

○香

十炷香 競馬香 三夕香 吳越香 團扇香  
小香 住吉香 百和香 俗草 伽羅  
奇南香 沉香 赤梅檀 蘭奢待 ちりあり  
身より 揚子妃の 香反 初音 八のおとまを  
柴舟 たいぬき 大泥 伽羅 香炉 香机  
香盒 香匙 掛香

